

令和4年6月1日（水）に防災センターにて、北東部地域協力ネットワーク設立準備の第2回ワーキンググループを開催しました。今年1月に開催した第1回ワーキンググループはオンラインでの開催となったため、実質的には初の対面式の会議となりました。オンラインでの面識のある方と初めてリアルでお会いできたこともあり、開始前から会場はにぎやかな雰囲気ではじまりました。

第2回ワーキンググループについて



池澤市長のあいさつ

今回の第2回ワーキンググループは、本年1月に行った第1回ワーキンググループをはじめ、第1回、第2回モデル会議などのこれまでの検討経過を踏まえ、見えてきた北東部地域の課題や、特徴などを整理したうえで、今後、地域協力ネットワークとして取り組むべき課題や事業についてのアイデア出しをグループワーク形式にて行いました。今回から初参加の方も加わり、当日は会場に25名のご参加をいただき、西東京市長も加わって、熱い議論を取り交わしました。



グループワークの様子



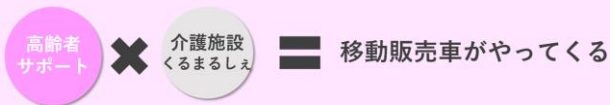
市長もグループワークに参加



各グループの発表を共有

地域の活動がコラボする面白い活動のアイデアとは？

考えてみよう！



地域の活動がコラボする面白い活動のアイデアとは？

グループワークの1ターン目は、地域活動がコラボするアイデアについて話し合いました。地域協力ネットワークは、地域をゆるくつなぐプラットフォームとなるもの、どんな人とモノ、場所、活動をつなげたら面白いかな？自由にアイデアを各グループで出し合っていました！
ご参加いただいたのは、自治会や地域の育成会、避難所運営協議会、学校関係、福祉関係、地元事業者、認定農業者、警察、市民活動団体の方などなど、多様な主体で地域に関わる方ばかり、地域に根差した実践的なアイデアを出していただきました。

各グループからのアイディア

農家×学校 イベント×商店街
学校×地域 高齢者×学校
伏見通り×地域イベント×地域資源
ゴミ拾い×スポーツ×SNS×若者
高齢者×地域のお助けの仕組み
子ども支援×公園・SNS×バザー
ペDESTリアンデッキ×ライブ

情報が届くまち×おせっかいおじさんおばさん
屋敷林×地域イベント
学校給食×独居老人
学校×地域おまつり 多世代交流×健康いきがい
保育園の子ども×中学生
学校の課題×地域の協力
空き家×地域の活動

- ・農家と学校や保育園などが触れ合うような取組みはどうか。地域で子育てしたい
- ・伏見通りでジョギングイベントはどうか？北東部を縦断する道をきっかけに、地域資源に触れてみるイベントはどうか
- ・一人暮らしのお年寄りが孤独になっているので、学校給食を子ども一緒に食べる取組みはどうか
- ・ゴミ拾いアプリピリカを使って、スポーツとしてのゴミ拾いで若者の参加も促したい
- ・学校の課題をみんなの活動にしたらどうか。先生に負担をかけずに地域が学校を助けることは
- ・バザーをしたら、ものすごく品物が集まった。見せ方を工夫すれば地域の善意はもっと集まると思う
- ・自治会がないため情報が届かない状態がある。そこで、ゆるい新しいつながりが必要（情報×お節介なおじさん&おばさんが居る地域作り）
- ・子ども食堂は子どもだけではない、地域の多世代が集まる場としてもっと活用できるのでは
- ・独居高齢者等の掃除、ごみ捨て、団地見守りなどをUbe r Eats感覚で大学生など若い人を巻き込む。

アイディアを深掘してみよう！

ワークの2として、出たアイディアのうち、面白そうなものを各グループで1～2個選択して、地域協力ネットワークとして何かできそうなことがないか、どんなことがあれば、実現できるかなどを話し合ってみました。

- ・独居高齢者の見守りについて。全体を知るのは難しいけど、屋敷林などで、様々な活動を通じて仲よしグループができて連絡先交換することで、見守りになるのでは。
- ・伏見通りジョギング大会。学区で6～7区域になる。競争というよりは、寄り道ポイントを作って、公園や農家などを見てもらうのもいいのではないか。年1回で、毎年テーマを決めてやるのもいい。
- ・子ども食堂に大人がもっと関われないか。実際に困っている子ども、大人のニーズはどのくらいあるか
- ・70代中心に、昼食会、茶話会が充実していて楽しく参加している人が多い。続けていけたらいい。
- ・「ピーボくん」の家をもっと活用できないか。ボランティアだけに頼らない地域の見守りの仕組みはつくれるか。

⇒人が出会う場所・きっかけをつくる事業として

高齢者・子どもの居場所、イベント開催などの多くアイディアが出されました。まずは地域の方がつながる場として、顔の見える関係を作っていく、いざという時には協力できるネットワークというイメージが共有されました。

今後のスケジュール

今後は、7月1日と8月3日に予定しております、第3回、第4回のワーキンググループを通じて、地域の皆さんの顔の見える関係を築くとともに、地域協力ネットワークとして取り組む活動のアイディアや方針についてさらに深めていきたいと思っております。

そして、8月のワーキンググループののち、設立準備会を立ち上げ、令和5年2月の設立に向けて、さらに皆さんとの取組みを進めて参ります。

